

龍寶寺 玉縄歴史館ギャラリー企画展

『玉縄城下の石塔展』

令和4年1月7日～4月20日

玉縄歴史館 市民学芸員育成の実践的講座の調査・研究の成果展



玉縄藩松平陣屋家臣の龍寶寺の墓地 No. 1～No. 3 6石塔・石仏



玉縄藩松平陣屋家臣の龍寶寺の墓地 No. 37～No. 74の石塔・石仏



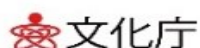
玉縄歴史館 開館時間：9:30～15:30

入館料：大人200円、子ども100円



主催：玉縄城址まちづくり会議 協賛：龍寶寺

公益信託大成建設自然・歴史環境基金調査研究事業



文化庁 文化芸術振興費補助金事業

「鎌倉・玉縄城址を活かす歴史ミュージアム事業」

＜石塔展企画の趣旨＞

今回取り上げたのは墓塔や供養塔等に用いられた石塔です。玉縄城下では、過去にこのような石塔の調査は十分に行われていませんでした。石塔はその型式から何時の時代のものであるか、あるいはそれを造立した人々の信仰や所属した宗教集団などが分かります。例えば宝塔・宝篋印塔・五輪塔・石仏などの石塔の形式からはそれが示す信仰や所属した宗教集団等を探ることができますし、石塔の大きさや加工の精緻は造立した人々の地位や財政力・所属集団を、石塔に刻まれた年代や人名からはその時点での地域との関わりなどを明らかにすることができます。この展示によって玉縄地域で暮らした人々の生活の一端をご想像いただければ幸いです。

鎌倉市教育委員会文化財課学芸員 玉林美男

＜玉縄城下の石塔調査研究の報告＞

平成 31 年度 文化庁文化芸術振興費補助金「鎌倉・玉縄城址を活かす歴史ミュージアム事業」の、「市民学芸員育成講座」で、「地域史を学ぶ」調査研究を行いました。戦国時代と江戸期の玉縄藩時代の石塔を、玉林美男講師（鎌倉市教育委員会学芸員）に 3 年間にわたり指導を受けました。令和 2 年度は文化庁補助金で玉縄城主の菩提寺龍寶寺の松平陣屋家臣の墓地、令和 3 年は、『公益信託 大成建設自然・歴史環境基金』をうけ調査・研究を進めました。市民学芸員 18 名が協力し、74 基の石塔のデータづくり、ミリ単位の測量、10 回に及ぶ撮影、ドローンを使い墓地の景観を写し、新装なった玉縄歴史館ギャラリーで企画展「玉縄城下の石塔展」を開催します。

玉縄城址まちづくり会議 文化委員長 荒井幸子

龍寶寺にある玉繩城下の石塔 74 基



No. 1 ~ No. 12



No. 13 ~ No. 23



No. 24 ~ No. 36



No. 37 ~ No. 48



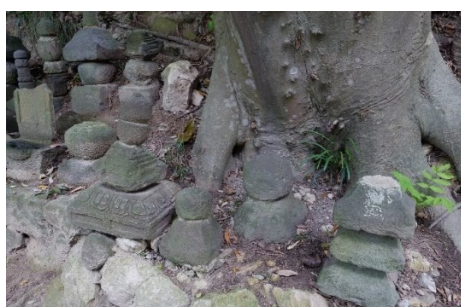
No. 49 ~ No. 60



No. 61 ~ No. 67



No. 68 ~ No. 74



戦国期の宝塔類

龍寶寺にある玉繩城下の石塔群のリスト

寸法単位：mm

番号	年号 (西暦)	種類・形態等	特徴ある石文	高さ	幅
1	享保 7 (1722)	石仏		479	270
2		墓石 舟形		491	216
3	貞享 2 (1685)	墓石 舟形		922	360
4		墓石 夫婦用		875	390
5		墓石 屋根付	本国上野 生国相州	984	*483
6	貞享 5 (1688)	墓石	俗名 小幡	768	315
7	延宝 8 (1680)	墓石	本国上野 生国相模	825	324
8	延宝 3 (1675)	墓石 破損	本国上野 生国相模	803	323
9	寛文元 (1661)	墓石 変形	底光秋徹	531	250
10	寛文元 (1661)	墓石 舟形		815	322
11	寛文 5 (1665)	墓石	栄壽禪定尼 鋤柄	688	284
12	寛文 12 (1672)	墓石 舟形	貞心禪定尼 松嶋	719	308
13	承応 3 (1654)	墓石		809	320
14	慶安 4 (1651)	墓石		962	343
15	寛文 11 (1671)	墓石		642	313
16	貞享 2 (1685)	墓石		873	370
17	延宝 3 (1675)	墓石		1,088	453
18	慶安 2 (1649)	墓石	武田弥平次内儀	783	401
19	寛	五輪塔		1,150	343
20		墓石	辰推賢良居士	937	397
21	寛文	墓石	大円一通居士	745	311
22		石仏 観音	清肝禪定居士	695	301
23	寛文 3 (1663)	墓石	家山栄郷禪定門	805	381
24		墓石 屋根付	小島弥五兵衛重明	1,183	*472
25	延宝 (1676)	墓石	法性妙通禪定尼	819	287
26		石塔	十月十七日	520	281
27	寛文 9 (1669)	石仏 観音	岡本台泰尉高次	1,033	425
28	延宝 2 (1674)	石塔	華岳壽栄大姉	719	327
29	宝暦 6 (1756)	石塔	玄性童男菩提	546	238
30	享保	石塔	早世桃林童子	431	224
31	明和 9 (1772)	石塔	童子	459	243
32	正徳 2 (1712)	石塔	地藏仏	374	217
33	正徳 4 (1714)	石仏 地藏	童子	494	300
34	享保 6 (1721)	石仏 地藏	桂 禅童子	498	298
35		石塔		515	230
36		石塔		761	320
37	元禄 7 (1694)	石仏 地藏	洞圓禪定門	625	315

番号	年号 (西暦)	種類・形態等	特徴ある石文	高さ	幅
38	元禄6 (1693)	石仏 観音	明悦信女	619	344
39	寛文7 (1667)	石塔	源補禅定門菩提	688	270
40	寛文2 (1662)	石仏 地藏	見安人性禅定門	651	207
41	元禄7 (1694)	石仏 観音	全通禅定尼菩提也	648	297
42	寛文2 (1662)	石塔	禅 嶺梅道雪菩提	618	265
43	宝永5 (1708)	石仏 観音	春潮禅定尼	533	316
44	宝永3 (1706)	石塔	原潮禅門 菩提	617	329
45	貞享3 (1686)	石塔	峯雲禅定門	663	304
46	貞享2 (1685)	石仏 地藏	峯雲童女 福黒	573	296
47		石仏 地藏	狼眠宗補禅定門	475	294
48	貞享5 (1688)	石仏 観音	金貞童子	492	256
49	寛永19 (1642)	墓石	霜 童女	642	300
50	宝永	石仏 地藏	霜 童女	487	253
51	宝永2 (1705)	石仏 地藏	利 禅	498	263
52		墓石		401	208
53	宝暦12 (1762)	石塔	會本源智性禅	512	246
54		石塔		760	353
55	寛文11 (1671)	石仏 観音	月空乃圓禅定尼	864	399
56	寛文5 (1665)	石塔	金宮宗 禅定門	914	394
57	延宝6 (1678)	石塔	高室次郎元 重正	1,120	444
58	寛文9 (1669)	石塔	高室 兵衛	1,119	448
59	寛文5 (1665)	石塔	高室 傳兵衛	1,056	445
60		石塔	鐵宋軒頭山道樹居	708	273
61	慶安2 (1649)	五輪塔	心叟 安居士	1,431	426
62	寛永13 (1636)	宝篋印塔+	尼	1,556	460
63		五輪+宝篋印塔		1,530	372
64	寛永21 (1644)	宝篋印塔+五輪	月慶不心禅定尼	1,310	340
65		墓石	外岳清雲禅定尼	534	239
66			雪窓軒孤峰白無居士	715	271
67	寛永	宝篋印塔一法輪		714	271
68		石塔		845	346
69	元禄7 (1694)	石塔 舟形	深谿松山信士夫婦	801	335
70		石塔 舟形	禅 尼	751	336
71	慶安3 (1650)	石塔 舟形	空清安土禅定門	680	344
72		五輪塔		802	279
73		五輪塔		663	315
74	元禄11 (1698)	石仏 地藏	越元童子	616	296

(注) 寸法計測範囲 高さ：台座の上から頂部まで（台座は測定不能なものがあるため除外）

幅：台座の上から頂部までのうち、傘石を含む最大横幅

石塔群に刻まれている年号が、何の時を表しているかは不明。（没年、建立年など）

1. 玉縄城の石塔調査:玉縄城重臣のやぐら見学(令和元年7月)



田中家の墓所



田中家の歴史とやぐらの説明



講師から「やぐら」とは何かの説明



一族を祀る「宝篋印塔の相輪」を発見、長さ 31 cm、幅最大 10 cmを測る
 <やぐらの中の調査>市民学芸員と夏休み体験ボランティアの清泉女学院生、北鎌倉女子学園生



戦国から江戸、明治の石塔群。入り口付近には明治時代の石塔が並び奥の方が古い石仏とわかる



貞享 4 (1685) 阿弥陀如来



元禄 5 (1692) 観音



享保 20 (1730) 地藏

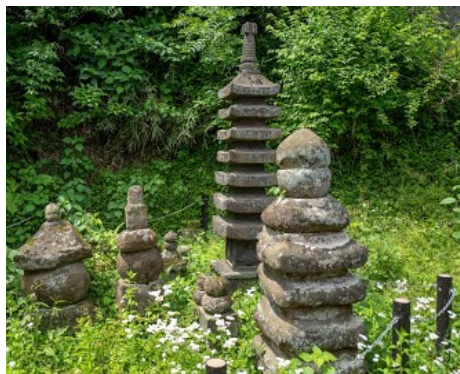
2. 見学した鎌倉の主な石塔



龍寶寺玉繩城主3代(綱成・氏繁・氏勝)の宝塔



大巧寺の北条氏政の家臣濱名豊後守時成
合掌型宝塔



「伝上杉憲方逆修塔」多宝塔



久成寺の長尾定景一族の墓



東瓜ヶ谷の宝篋印塔

3. 特別な石塔群

三基の石塔は、寛永13(1636)～寛永21(1644)の石文がありこの墓地の中では一番古く大きい石塔群です。五輪塔や宝篋印塔に装飾が付くかたちです。玉繩藩松平陣屋の身分の高い人が女性家族の供養に「尼」の石文を刻んで創建したと思われます。徳川幕府旗本の今川氏真(1614 死去)夫妻の墓も宝篋印塔の上に装飾がつく形です。江戸時代初期の大名や旗本の墓に多く見られるそうです。



寛永13(1636)～寛永21(1644)の装飾が付く石塔



杉並区今川町の歓泉寺の今川家累代の墓地

4. 時代による石仏の比較調査 令和2年7月～令和3年12月

寛文年間から石仏が多くつくられます。地震・富士山の噴火、飢饉などで亡くした親族の1周忌や3回忌に慰霊のために作られました。石文から個人情報を読み取れます。箱根外輪山内側の密度の高い安山岩です。小田原早川の石工場で量産され、形式も似ています。

龍寶寺にある玉繩城の石仏一覧 (年代順) 寸法単位：mm

石塔群の番号	年号 (西暦)	種類・形態等	特徴ある石文	高さ	幅
40	寛文2 (1662)	石仏 地蔵	見安人性禅定門	651	207
27	寛文9 (1669)	石仏 観音	岡本台泰尉高次	1,033	425
55	寛文11 (1671)	石仏 観音	月空乃圓禅定尼	864	399
22	寛文	石仏 観音	清肝禅定居士	695	301
46	貞享2 (1685)	石仏 地蔵	峯雲童女 福黒	573	296
47	貞享	石仏 地蔵	猿眠宗補禅定門	475	294
48	貞享5 (1688)	石仏 観音	金貞童子	492	256
38	元禄6 (1693)	石仏 観音	明悦信女	619	344
37	元禄7 (1694)	石仏 地蔵	洞圓禅定門	625	315
41	元禄7 (1694)	石仏 観音	全通禅定尼菩提也	648	297
74	元禄11 (1698)	石仏 地蔵	越元童子	616	296
50	宝永	石仏 地蔵	霜 童女	487	253
51	宝永2 (1705)	石仏 地蔵	利 禅	498	263
43	宝永5 (1708)	石仏 観音	春潮禅定尼	533	316
32	正徳 (1772)	石仏 地蔵		374	217
33	正徳4 (1714)	石仏 地蔵	童子	494	300
1	享保7 (1722)	石仏 地蔵		479	270



No.40 寛文2 (1662)



No.27 寛文9 (1669)



No.55 寛文11 (1671)



No.22 寛文



No.46 貞享 2 (1685)



No.47 貞享



No.48 貞享 5 (1688)



No.38 元禄 6 (1693)



No.37 元禄 7 (1694)



No.41 元禄 7 (1694)



No.74 元禄 11 (1698)



No.50 宝永No.51



No.43 宝永 5 (1708)



宝永 2 (1705)



No.32 正徳 (1772)



No.33 正徳 4 (1714)



No. 1 享保 7 (1722)